

証券コード：6549 ディーエムソリューションズ株式会社 代表取締役社長 花矢 卓司

第21回定時株主総会決議ご通知

2025年6月25日（水）開催の当社第21回定時株主総会におきまして、
下記の通り報告及び決議されましたので、ご通知申し上げます。

報告事項

- 第21期（2024年4月1日から2025年3月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
- 第21期（2024年4月1日から2025年3月31日まで）計算書類報告の件

決議事項

剰余金の処分の件
以上

会社情報 (2025年3月31日現在) About us

■ 会社概要

商号	ディーエムソリューションズ株式会社	事業内容	・ダイレクトメールの発送代行サービス及びEC事業者の物流支援を行うフルフィルメントサービスを提供するダイレクトメール事業
証券コード	6549		・Webマーケティングサービス及び自社メディアサイトの運営等を行うインターネット事業
設立	2004年9月15日		・ECサイトによる衣料品及び雑貨の卸販売を行うアパレル事業
資本金	3億7,667万円		
本社所在地	東京都武蔵野市御殿山1丁目1-3 クリスタルパークビル2F		
従業員数（連結）	正社員327名、その他289名		

■ 役員 (2025年6月25日現在)

代表取締役社長
取締役副社長
取締役
取締役
取締役
取締役^{※1}
常勤監査役^{※2}
監査役^{※2}
監査役^{※2}
※1 社外取締役 ※2 社外監査役

花矢 卓司
福村 寛敏
勝山 純一
木村 和央
小林 剛司
松藤 悠
宮本 則昭
齋藤 哲男
高見 之雄

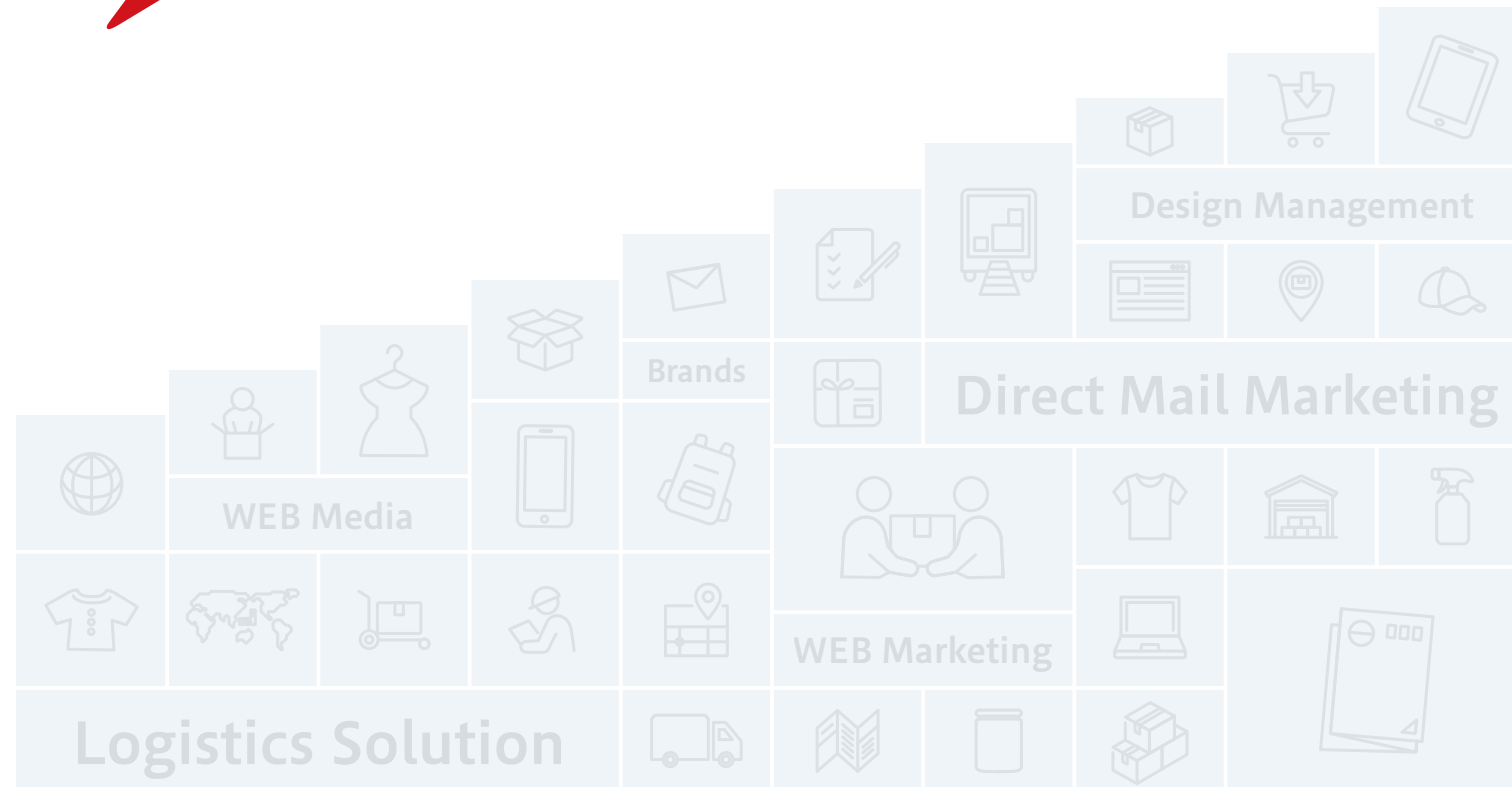
■ 拠点情報

愛知県 ・名古屋営業所 ・名古屋メールセンター	宮城県 ・仙台営業所
大阪府 ・大阪営業所 ・大阪メールセンター	東京都 ・本社 ・三鷹メールセンター ・八王子第1メールセンター ・八王子第2メールセンター ・八王子第3ロジスティクスセンター ・八王子第4フルフィルメントセンター ・八王子第5フルフィルメントセンター ・日野フルフィルメントセンター ・国立フルフィルメントセンター
福岡県 ・福岡営業所	神奈川県 ・横浜営業所



ディーエムソリューションズ株式会社

〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山1丁目1-3 クリスタルパークビル2F



Business Report

ディーエムソリューションズ株式会社

2025年3月期 事業報告書 2024年4月1日～2025年3月31日

特集 花矢社長に聞く

ディーエムソリューションズの今後の展望

ロジスティクスとマーケティングの力で 世の中に必要とされるモノと情報を届け 豊かな未来に貢献する

お客様が求める「ソリューション」をリアル×ネットで創出する。



IRサイトのご案内

当社は、株主・投資家の皆様にタイムリーでわかりやすい情報発信を目指し、IRサイトの充実を図っております。ぜひ一度ご覧ください。

ディーエムソリューションズ IR

検索

スマートフォンで
IRサイトへ



Webで閲覧可能

当社の株主通信は冊子、Webどちらでも閲覧することができます。

<https://ir-p.jp/dms/report/index.html>



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。2025年3月期の事業活動と業績についてご報告させていただきます。当期におきましては、ウクライナや中東の情勢不安や世界的な原材料及びエネルギー価格の高騰や物価上昇により、先行きの不透明な状況で推移しました。このような状況の下、当社は、20期連続増収となり、売上、利益ともに過去最高を達成することができました。

業績好調の要因は、主たる事業であるダイレクトメール事業の業績、業容の拡大が挙げられます。DM発送代行サービスにおいては、強みである営業力と価格競争力、Web集客を生かした売上拡大、DX推進による顧客対応業務の効率化の好循環が業績を牽引しました。

EC通販市場の拡大に伴い需要が増加している宅配便等の小口貨物を取り扱うフルフィルメントサービスにおいては、2024年6月に国立フルフィルメントセンターがオープンし、受託能力が大幅に向上。各拠点の稼働率も順調に推移し事業を大きく進展させることができました。

インターネット事業においては、重点施策であるEC関連サポート領域への体制整備も一層進むとともに、新たなビジネスへの準備も進捗しております。

アパレル事業においては、為替やインフレなどの外部環境による影響を受けつつも、仕入、商品輸送手段、販売方法の見直し等の取り組みが功を奏し、増収につなげることができました。



その結果、売上高は20期連続増収となる21,155百万円（前期比16.2%増）となりました。営業利益は678百万円（同19.4%増）、経常利益は685百万円（同19.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は496百万円（同23.3%増）と、各段階利益において前期比約20%の成長を達成しました。

期末配当は、当社グループの好調な事業成長を踏まえ、2025年3月期は、前期比11円増配の1株につき23円といたしました。2026年3月期は5円増配の28円を予定しております。また、2024年12月より、1億円を上限とした自社株買い（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合約1.79%）を実施し、株式価値向上を図っております。

2026年3月期は、業績拡大に加え、さらなる飛躍的成長に向け、各事業において将来成長のための投資をしっかりと行うとともに、各拠点の生産性向上による収益性アップを図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月吉日
代表取締役社長

花矢 卓司

目次 Contents

- P.1** 当社の事業領域
- P.2** 株主の皆様へ
- P.3** 花矢社長に聞く
ディーエムソリューションズの今後の展望
- P.7** 業績ハイライト
- P.9** ディーエムソリューションズ ラウンジ
- P.10** 株式の情報
(株式の状況・所有者別株式分布状況・大株主の状況・株主メモ)
- 裏表紙** 第21回定時株主総会決議ご通知
会社情報(会社概要・役員・拠点情報)

花矢社長に聞く ディーエムソリューションズの 今後の展望



当期の振り返り、株主還元方針、今後の戦略について、
花矢社長にお話を伺いました。

Q1 2025年3月期の業績を教えてください。

A 主力のダイレクトメール事業が大幅成長したことにより、
売上高、営業利益ともに過去最高を更新いたしました。

当期は、売上高は、前期比16.2%増収の211億円、営業利益は19.4%増益の約6.8億円となり、過去最高の売上、利益を更新することができました。

その要因は、当社グループの主力であるダイレクトメール事業が売上、利益ともに20%近く大幅成長したことにあります。当社の基幹サービスであるDM発送代行サービス、新たに大きな柱になりつつあるフルフィルメントサービス、ともに躍進を遂げることができました。

具体的には、DM発送代行サービスが、クロネコDM便の廃止によるゆうメールへの切り替え需要、2024年10月の郵便料金値上げに伴う見直し需要を捉え、新規顧客獲得活動が良好に推移。加えて、DM発送代行サービスのネット販売を行う「セルマーケ」からの受注も増加し、通年で業績拡大に寄与しました。また、フルフィルメントサービスにおいて

は、EC事業者向けの物流代行サービス「ウルロジ」の認知度の向上に加え、国立フルフィルメントセンターの本格稼働や設備投資によるピッキング作業の自動化の推進等、生産能力の強化を併せて行うことで、新規顧客の獲得及び大口顧客の出荷関連業務が増加し、想定を上回る結果となりました。

インターネット事業は、事業環境の変化が大きいなか、SNSマーケティングやEC支援等サービスの拡充を目指す基盤づくりに努めました。アパレル事業は、為替相場の影響を受け、利益は前期並みに留まりましたが、販売価格の見直しや別注商品の企画販売等により売上高は過去最高となりました。併せて、商品ラインナップや仕入れルートの見直しなどの取り組みにより、今後に向けた事業基盤の強化ができました。

Q2 当期のトピックスを教えてください。

A 東京都国立市にフルフィルメントセンター
としては4拠点目となる新拠点を新設

EC事業者向けの物流代行サービスを中心に事業拡大が続く、宅配便等の小型荷物発送業務の受注量増加に対応するため、東京都国立市に4拠点目のフルフィルメントセンターとなる「国立フルフィルメントセンター」を新設。開設後は、営業、受注活動がしっかりと進み、稼働率は高水準となっております。また、推し活市場の拡大もあり、IP商材であるアニメやゲーム、アイドルのキャラクター商品のEC販売を行うお客様からの取引量、新規顧客からの受注、ともに増加させることができました。

※IP商材とは…芸能人やゲーム、アニメキャラクターなど、知的財産（IP）を活用した商品やサービス



A ダイレクトメール事業において最新機械
を導入し、大口顧客の獲得を狙う

DM発送代行サービスのさらなる拡大を見据えて、定形外自動封入封緘機1台と、ラッピングシステム2台を導入しました。これら大型機械の稼働により受注キャパシティを拡大し、業務の自動化による生産性向上を実現します。また、これらの機械を活用することで省人化・効率化を進め、ひとつの受注で数十万規模の発送を行う大手企業や自治体などの大型顧客の開拓に結びつけていきます。



定形外自動封入封緘機



ラッピングシステム

連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)

	2024年3月期実績	2025年3月期実績	前期比
売上高	18,207	21,155	16.2%増
営業利益	568	678	19.4%増
経常利益	575	685	19.2%増
親会社株主に帰属する当期純利益	402	496	23.3%増

2026年3月期 (単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
連結業績予想	22,830	800	798	515

- ✔ ダイレクトメール事業における成長投資の費用をこなしながらも、同事業の堅調な受注状況に加えて、DX推進による営業活動の効率化、生産性向上により、各段階利益で前期比約20%の大幅な利益成長
- ✔ 前期比で7.9%、約16億円の売上増を計画。収益重視の展開を進め、同比17.8%の営業増益を目論む。

決算説明動画

業績や今後の取り組みについての決算説明動画を配信しています。ぜひご覧ください。



<https://irp-system.net/presenter/?conts=01jq3kwc7jb87k0psbwjv6pqhn>

IRメール登録のご案内

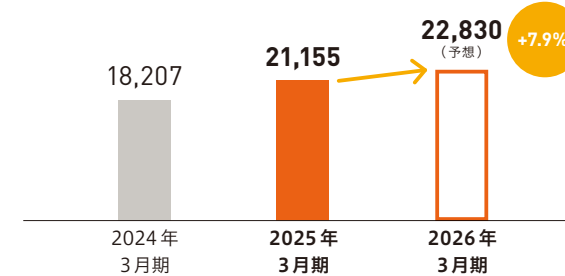
当社ではIRに関する情報をタイムリーにお知らせするIRメールを配信しております。ぜひ、ご登録ください。



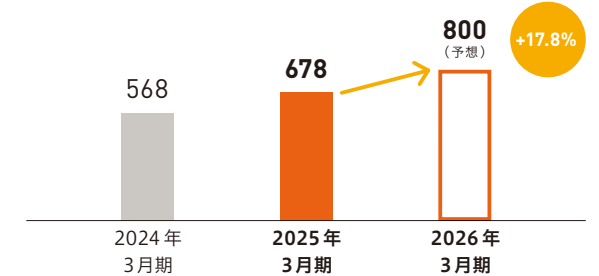
<https://www.magicalir.net/6549/mail/index.php>

(単位: 百万円)

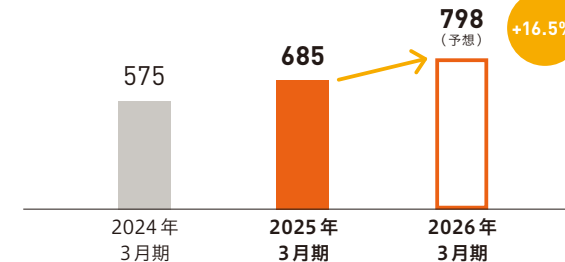
■ 売上高



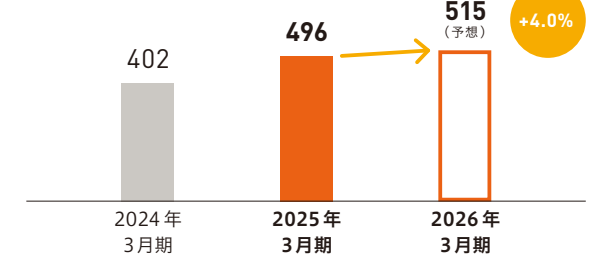
■ 営業利益



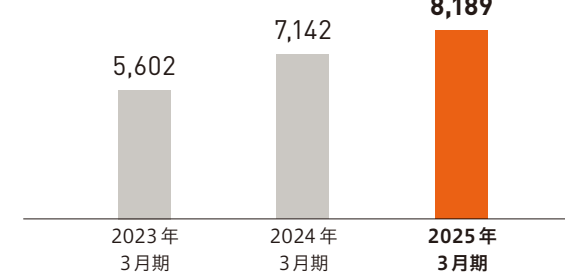
■ 経常利益



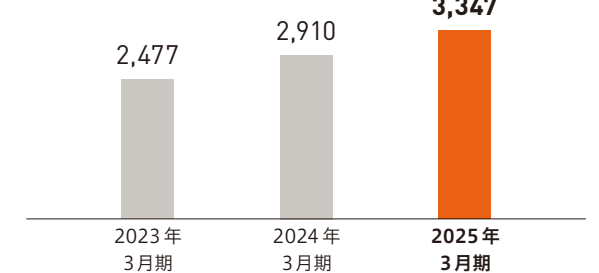
■ 親会社株主に帰属する当期純利益



■ 総資産



■ 純資産





ディーエムソリューションズ

ラウンジ

事業のトピックスやお知らせなど、株主様とのコミュニケーションコーナーです。

株主還元が益々充実!

年2回の株主優待(200株保有以上)+増配予定の期末配当金で、株主還元を楽しめます。

■ 株主優待制度 年2回

1年以上継続して当社株式を200株以上保有する株主様へ、継続保有数量に応じて、株主優待品を年2回進呈。

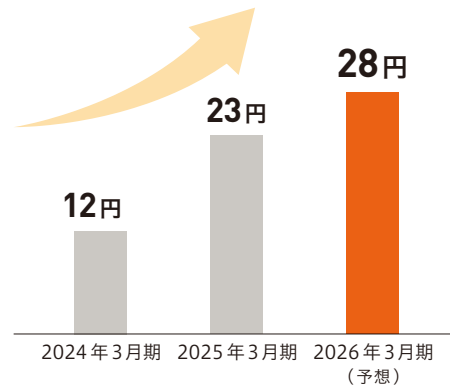
200株以上1年超保有^{※1}の毎年3月31日、9月30日現在の株主名簿に記載されている株主様^{※2}



■ 期末配当金

2024年3月期から配当を開始。2期連続増配を予定し、2026年3月期は、28円の期末配当金を計画。

〈一株あたり年間配当金推移〉



ご留意点

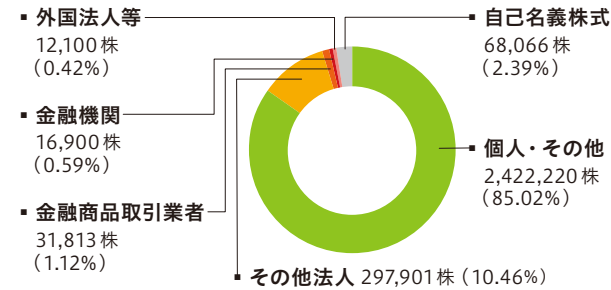
- ※1 1年超保有となるのは、期末については3月31日、9月30日、翌年3月31日、中間については9月30日、翌年3月31日、9月30日各時点の株主名簿に連続して記載された株主様です。
- ※2 各基準日の最終株主名簿に記載されるには、各基準日における権利付最終日までに当社株式をご所有いただいている必要があります。なお、優待品の発送は毎年6月頃と12月頃を予定しています。

株式の情報 (2025年3月31日現在) Stock information

■ 株式の状況

発行可能株式総数	8,800,000株
発行済株式総数	2,849,000株
株主数	1,975名

■ 所有者別株式分布状況



■ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日 (そのほか必要がある場合は予め公告いたします)
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL: https://www.dm-s.co.jp やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

■ 大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
花矢 卓司	919,800	33.08
福村 寛敏	578,700	20.81
アセットインクリーズ株式会社	260,000	9.35
中村 剛	80,100	2.88
丸谷 和徳	69,000	2.48
ディーエムソリューションズ社員持株会	32,100	1.15
上田八木短資株式会社	32,000	1.15
岩崎 康二	30,000	1.08
松本 和久	26,000	0.93
金子 主税	24,700	0.89

※持株比率は自己株式を控除したうえで、小数点以下第3位を四捨五入して計算しております。

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (フリーダイヤル) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
各種事務手続き	詳しくは、こちらのページにてご確認ください。 https://www.tr.mufg.jp/daikou/